

## 長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	2	—	事業名	市ホームページ運用事業(広報事業)	担当部課	市長公室情報課
------	---	---	-----	-------------------	------	---------

基本情報	総合計画	基本方針	5	みんなの力を結集する自治と協働のまち	会計	1	一般会計
		分野別項目	4	行政情報を提供し、住民意見を聴く機会を充実する	款	2	総務費
		施策の進め方	—		項	1	総務管理費
	まちづくり 行程表	フラッグ	F1	「つながり」～一人ひとりに役割と居場所があるまち～	目	6	情報化施策費
		政策分類	6	広報市民記者の活用	大事業	3	広報事業
	その他(関係法令、要綱等)		—				
事業開始の背景、経緯等		情報化社会により市政に関する情報をより多くの人知ってもらうため。					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 本市におけるホームページ運用に関する事業					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市内外の住民					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市政に関する理解を深めてもらう					
	事業を構成する事務事業	① 市ホームページ運用事業	改善・見直し	④			
		②		⑤			
		③		⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	事業費(A)	千円	決算	予算			2,928	2,928
決算						2,927	2,927	
人件費(B)	千円	決算			—	3,666		
総コスト(A)+(B)	千円	決算				2,927	6,593	

成果推移	成果指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	A 不満足度	%以下	目標	—	—	10	10	10
			実績	—	—	9	8	
	B		目標					
			実績					
C		目標						
		実績						

【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)

A ホームページの「使いにくさ」等を解消することを目的として、モニターアンケートの「不満足度」の過去実績を参考に数値目標を設定する。

B

C

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) ホームページは全ての行政機関で実施している。 また、インターネット環境、SNSの普及などにより、情報発信の方法が増加している状況である。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 目標は不満足度10%以下と設定しており、モニターアンケート結果により不満足度は目標値以下となったため、おおよそ達成はできた。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 不満足度0%を最終目標に設定し、細かい部分の改善に取り組んでいく。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 市内外の住民に対して、本市により興味を持ってもらうために、市政・広報モニターアンケート等を活用し、ホームページ等各媒体の特徴をいかした方法で、市政情報を伝えていく。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 市内外の住民に対し、長久手市の魅力、特色等を紹介し、長久手市を深く知ってもらう。

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		市ホームページ運用事業（広報事業）										
番号	①	事務事業名	市ホームページ運用事業		款	2	項	1	目	6	大事業	3	中事業	1
事務事業の期間	事務事業開始年度		平成9年度			終了（予定）年度		—						

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	市内外の住民に、市政情報を提供する市ホームページの運営及び管理
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	市内外の住民に、市政情報を提供する。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
事業費	千円	予算			2,928	2,928	2,928
		決算			2,927	2,927	

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
不満足度	%	目標	—	—	10	10	10
		実績	—	—	9	7	
		目標					
		実績					

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

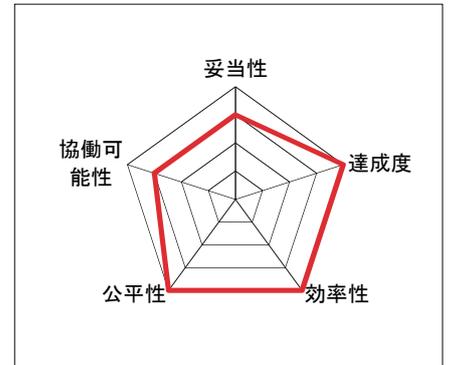
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
ホームページは各課等で作成しており、市民へ伝えるべき市政情報が増加している。

## 5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
市民へ伝えたい市政情報が増加していることから、市民からホームページ上で探したい情報をたやすく探すことができないとのご意見もある。その改善方法として、各課等と調整を行いながら運営していく。
(何をどのような状態に改善したのか)
各課等との連携を密にし、タイトル及び情報量を見やすいように調整を行ったことにより、1ページあたりの情報量が多すぎないようにした。

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	4
効率性	4
公平性	4
協働可能性	3



### 【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
市内外の住民から閲覧した場合に、1ページあたりの情報量が多すぎないように各課等と調整を行った。

### 【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
従前から残っているページについて未だ1ページあたりの情報量が多いページが見受けられるので、今後も各課等と調整を行っていき、改善を図る。

## 7. 今後の方向性

**改善・見直し**

### 【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
活動指標の不満足度（市政・広報モニターアンケート結果のちょっと不満、かなり不満）から、大多数の市民はホームページに満足を感じていることがわかるため、こちらは継続して運営していく。 市民へ伝えたい市政情報をわかりやすくするために、現在行っている改善を進めていく。